

## 播磨町狐狸が池におけるアカミミガメ駆除とオニバスの出現 続報

三根佳奈子・谷口真理 ((株) 自然回復)・上野真太郎 (東大・農・生圏 / (株) 自然回復)

Removal of Red-eared slider in Harima town

By Kanako MINE, Mari TANIGUCHI and Shintaro UENO

兵庫県播磨町に位置する狐狸が池ではかつてオニバスが確認されていた。しかし 2011 年以降にはオニバスが消失し、2013 年にはミシシippアカミミガメ (以下アカミミガメ) が多く確認されるようになった。オニバス消失の要因は多量の植物を摂餌するアカミミガメによる捕食と考え、2015 年からオニバスの復活を目的にアカミミガメの駆除を実施している。駆除は 2015 年 5 月～2017 年 9 月に、カメ捕獲用のカメ網 (設置回数 8 回, 設置網数 91 網), カメ駆除専用の定置網 (50 回, 272 網), 日光浴をするカメの習性を利用し捕獲する 2 つのタイプの日光浴罟, 浮島タイプ (69 回, 130 網), 塩ビパイプタイプ (5 回, 10 網) を用いて実施した。計 441 個体のカメが捕獲され, その内訳はアカミミガメ 413 個体, クサガメ延べ 162 個体, スッポン 1 個体であった。1 網あたりに捕獲されたカメの数 (CPT) の変動をみると, カメ網では, 駆除 1 年目に最高 3.71 から 1.36 と低下し, その後は 0.00～0.43 と低い値を維持した。定置網では 1 年目に最高 15.5 から 1.50 に低下, 翌年 5 月に 4.00 と再び高い値となったが, その後は 0.00～1.33 と低い値で, 高い駆除の効果を得ることができた。捕獲されたアカミミガメのサイズ (腹甲長) の月ごとの変動を見ると, 集中的に駆除を実施した 2015 年 5 月に平均 151.2 mm, 10 月には 84.7mm へと小さくなったが, その後は変動し, 月平均 68.9～134.4mm と様々なサイズの個体が捕獲された。駆除後にサイズが変動した要因は, アカミミガメが他の水域から水路や陸路を介して侵入したと考えられ, 今後は侵入を防ぐ対策を実施する必要がある。また, 駆除翌年には 5 年ぶりにオニバスが再び出現し, 2 年後にも出現が確認され, アカミミガメ駆除の効果を得られた。



設置した 4 種類の罟

(左上: カメ網, 右上: 定置網, 左下: 浮島タイプの日光浴罟, 右下: 塩ビパイプタイプの日光浴罟)